

コード	205020309
記入日:	H22.5.31

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司貴英
担当者	井内恭広

事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	普通河川中野川護岸整備事業
----------	---------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	3
基本事業コード	20502	基本事業名称	治山・治水対策の推進	目コード	1
事務事業コード	2050203	事務事業名称	単独事業費(河川)	細目コード	917
関連計画	新上五島町振興計画		法令・条例規則等	河川法	

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が監理する河川周辺住民 (対象2)		(対象指標1) 関係地区の世帯数 10 世帯 (対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
*****		*****		*****	*****	*****
整備延長 L=17.1 m 事業費 2,797 千円 護岸工 L=31 m ² 河床工 A=593 m ²		① 整備延長		17.1 m	85.5%	実施新設延長÷計画新設延長 ***** 平成21年度
		(達成率分析)		計画延長は20.0mであったが実延長は17.1mとなった。		
		②		*****	*****	*****
		(達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
		*****		*****	*****	*****
		① 整備率		100%	139.9%	事業費÷計画事業費 ***** 平成21年度
本河川は、護岸の一部が未整備で豪雨により一部護岸が壊れている。護岸の整備工事を実施することにより河川の氾濫を防止し、周辺住民の安全を確保するものである。		(達成率分析)		事業費は河床工を増工したことにより増額となったが、計画どおり完成した。		
		②		*****	*****	*****
		(達成率分析)				

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① m	20	17.1		20	17.1
	②					
成果指標	① %	100	100		100	100
	②					
総事業費C (A+B)	千円	2,700	3,497		2,700	3,497
直接事業費 A	千円	2,000	2,797		2,000	2,797
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円	1,900	2,600		1,900
	その他	千円				2,600
一般財源	千円	800	897		800	897

コード 205020309

評価(CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 河川管理者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 河川の安全性及び機能性については、普遍的なものであり町が行うべきである。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 河川周辺住民とすることで適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 河川周辺住民の利便性及び安全性が確保された。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 計画どおり実施された。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 河川の機能及び安全性が確保できない。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 河川管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 計画どおり目的達成した。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし。
2次評価	河川災害防止・住民の生活環境保全として有効である。引き続き維持管理に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。